

ColorBurst Powercore gen3

カラー バースト パワーコア ジェネレーション3

ColorBurst IntelliHue Powercore gen3

カラー バースト インテリビュー パワーコア ジェネレーション3

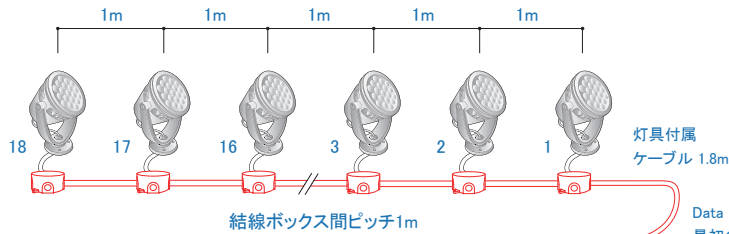
eW Burst Powercore gen3

イーダブリュー バースト パワーコア ジェネレーション3

1 下図を参考に配線条件をご確認下さい。

ColorBurst Powercore gen3、ColorBurst IntelliHue Powercore gen3、eW Burst Powercore gen3

結線ボックス間ピッチ1mの場合、最大18台まで

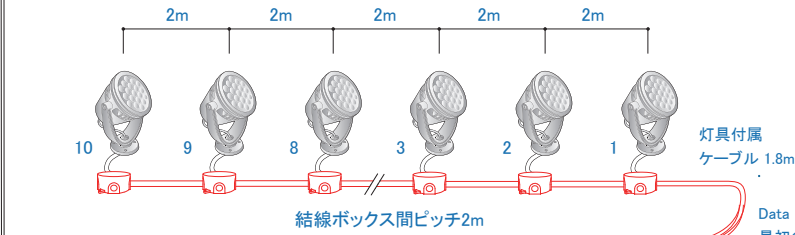


※ Data Enabler Pro から最初の結線ボックス間 及び
結線ボックス間のケーブルは、3.5mm² × 4芯を別途
ご用意下さい。
※ 結線ボックスは別途ご用意下さい。
※ CAT5e/RJ45データケーブルは別途ご用意下さい。

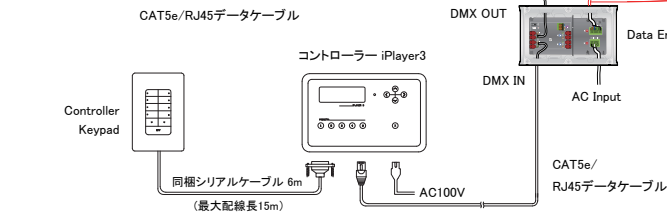
Data Enabler Pro から
最初の結線ボックス間の距離 30m

ColorBurst Powercore gen3、ColorBurst IntelliHue Powercore gen3、eW Burst Powercore gen3

結線ボックス間ピッチ2mの場合、最大10台まで



Data Enabler Pro から
最初の結線ボックス間の距離 30m



Data Enabler Pro 1台あたりの最大接続台数

- ・ AC100V、結線ボックス間ピッチ1m ・ Data Enabler Pro から最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・ 18台（合計配線距離47m）
- ・ AC100V、結線ボックス間ピッチ2m ・ Data Enabler Pro から最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・ 10台（合計配線距離48m）
- ・ AC200V、結線ボックス間ピッチ1m ・ Data Enabler Pro から最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・ 19台（合計配線距離48m）
- ・ AC200V、結線ボックス間ピッチ2m ・ Data Enabler Pro から最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・ 10台（合計配線距離48m）

上記合計配線距離と最大接続台数以内であれば、結線ボックス間のピッチは自由に変更可能です。

データイーネーブラープロが32台以上、またはデータ線合計が100mを超えるシステムでは別途DMXリピーター（信号増幅器）が必要となります。

■ ライトアドレス: 灯具を個別制御するには事前にアドレス設定が必要です。詳細はお問合せ下さい。

2 箱を開いて製品を取り出します。 箱には以下のものが入っています。全て入っているのか確認して下さい。



ColorBurst Powercore gen3
ColorBurst IntelliHue Powercore gen3
eW Burst Powercore gen3
（付属ケーブル 1.8m）



パッキン



ビス・・・4本

製品本体裏面

3 シリアルナンバーの記録

製品本体には製造時に個別のシリアルナンバーが付いています。
シリアルナンバーはライトアドレスを変更する場合に必要となります
ので、事前にシリアルナンバーとライトアドレスを配線図上に控えて
おいて下さい。

また、製品本体にも設定したライトアドレスを耐候ラベルなどを使用
し明記しておくことをおすすめします。

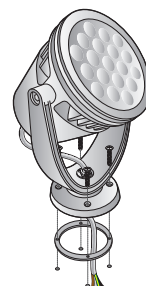
※ 出荷時のアドレス設定サポート（有償）をご依頼されている場合は
必要ありません。

4 電源が入っていない事を確認します。 全ての機材の接続が終わるまで電源を入れないで下さい。

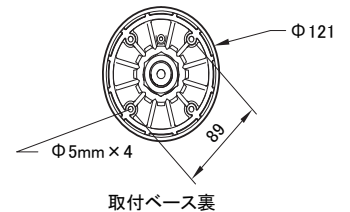
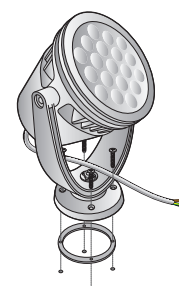
5 設置と配線

● 設置について

取付ベースにケーブルを通して設置する場合（出荷時）



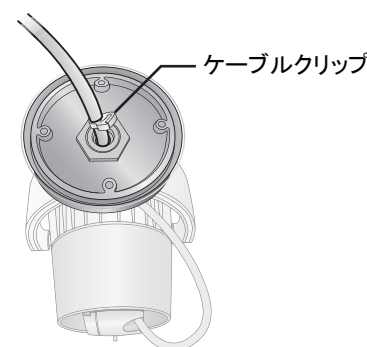
取付ベースからケーブルを抜いて設置する場合（下記参照）



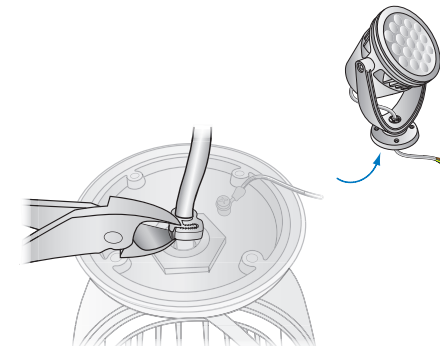
取付ベースには取付穴Φ5が4ヶ所設けて
ありますので、適用ビスで施工面（に）しっかり
取り付けて下さい。
取付が不十分の場合、器具の落下の原因
になる事があります。

● 配線について

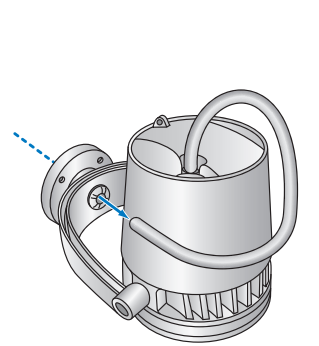
・ ケーブルの抜き方



ケーブルクリップ



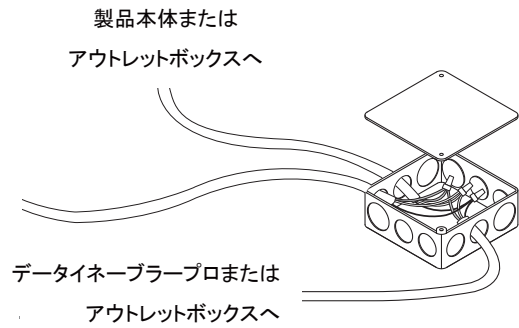
ケーブルクリップを
ペンチ等で外します。



ケーブルを取付ベース
から引き抜きます。

当製品は屋内・屋外両方で使用できますが、屋外で使用する場合は、
アウトレットボックスなどを用い、防水処理を確実にする必要があります。

- ・ 配線には12AWG<3.5mmφ>4芯ケーブルを用います。
- ・ ケーブルをアウトレットボックスに通します。また、ボックスが複数ある場合はボックス間にも引きまわします。
- ・ 製品に付属しているケーブルをそれぞれのアウトレットボックスに引き込み結線に必要な長さを残してカットします。
- ・ 圧着端子を用いてライン(茶)、ニュートラス(青/グレー)、グラウンド(緑/黄)、データ(黒)のワイヤをそれぞれ正しく結線します。
- ・ 結線処理した部分をアウトレットボックスに収めます。



6

Data Enabler Pro(データイネーブラー プロ)への配線 ※Data Enabler Pro への配線は Data Enabler Pro の取扱説明書をご確認下さい。

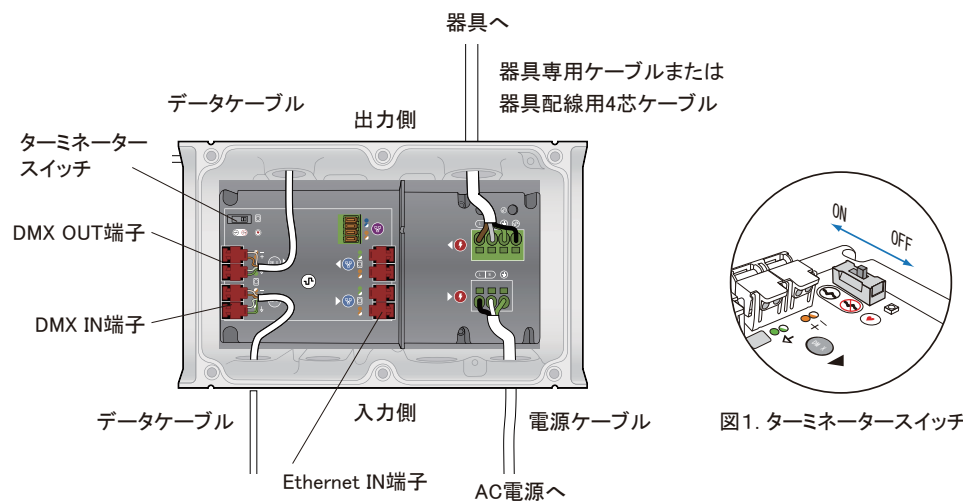
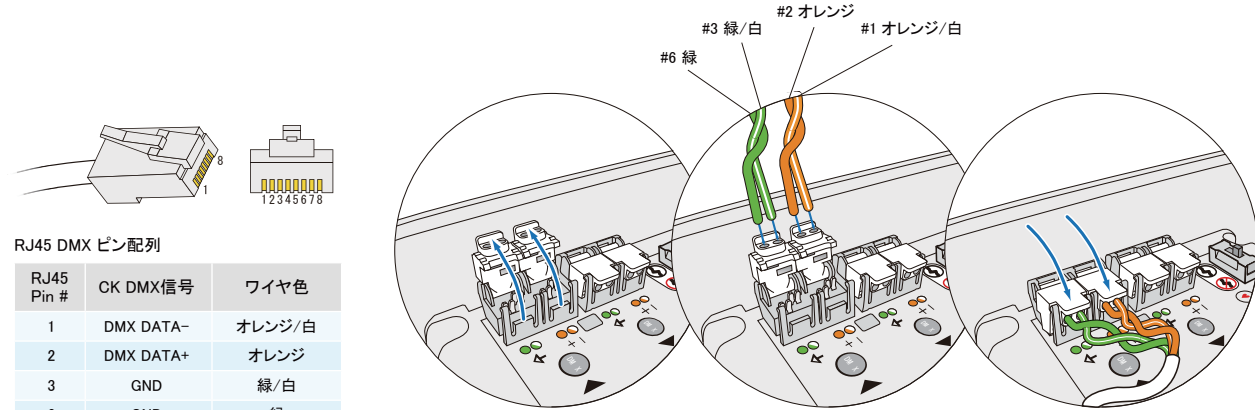
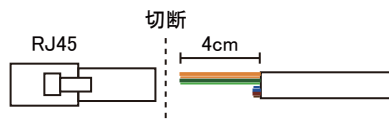


図1. ターミネータースイッチ

● データケーブルの接続

- ・ DMXコントロールの場合
コントローラーからのデータケーブルを DMX IN端子 に接続します。
また、Data Enabler Pro 間をデータケーブルで送り配線する場合、送り手の DMX IN端子 に接続します。
最後尾の Data Enabler Pro は、ターミネータースイッチをONにして下さい。(図1参照)

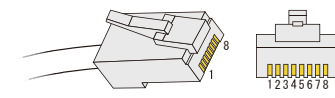
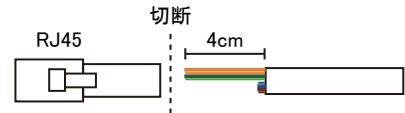
- ・ DMX IN / DMX OUT端子 へのデータケーブルの接続方法
データケーブルのRJ45部分を切断します。
オレンジ・オレンジ/白・緑/白・緑のワイヤを4cm程度残し、
他のワイヤをカットします。各ワイヤを端子台に接続します。



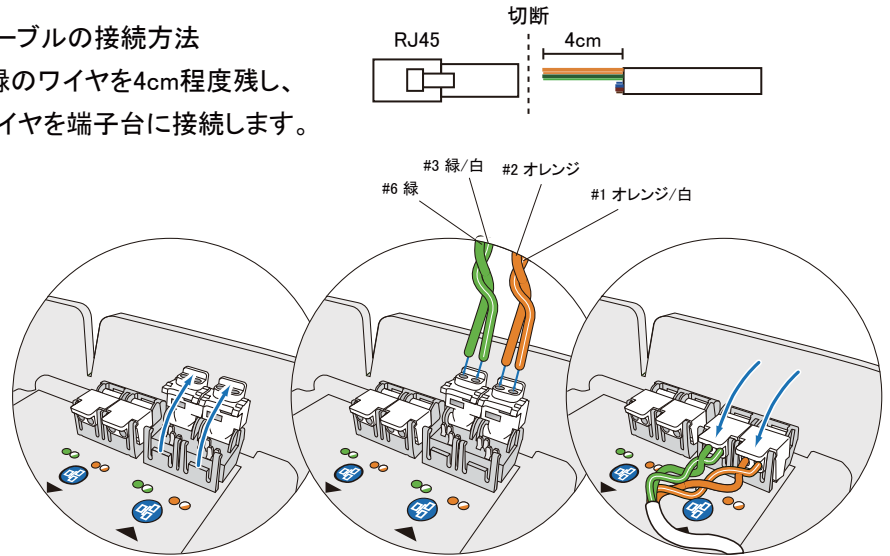
※ ワイヤの被膜を剥く必要はありません。

- ・ Ethernetコントロールの場合
(大規模システム向けコントローラー Light System Manager Pro 使用時)
スイッチングハブからのデータケーブルを Ethernet IN に接続します。

- ・ Ethernet IN端子 へのデータケーブルの接続方法
オレンジ・オレンジ/白・緑/白・緑のワイヤを4cm程度残し、
他のワイヤをカットします。各ワイヤを端子台に接続します。



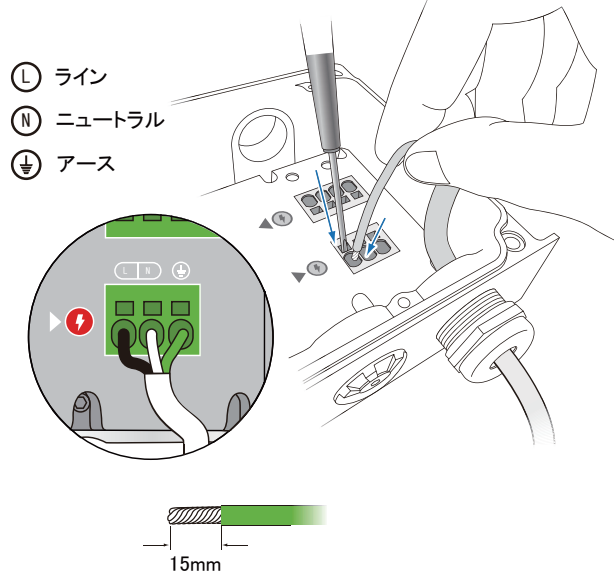
RJ45 Pin #	Ethernet信号	ワイヤ色
1	RxD+	オレンジ/白
2	RxD-	オレンジ
3	TxD+	緑/白
6	TxD-	緑



※ ワイヤの被膜を剥く必要はありません。

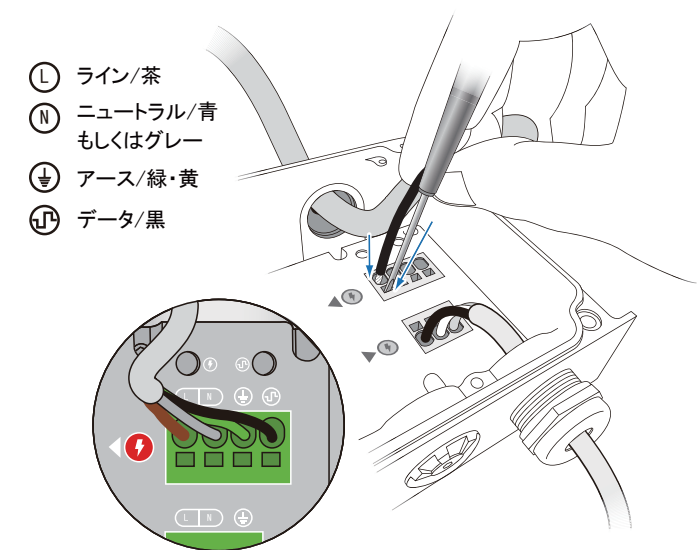
● 電源ケーブルの接続

電源ケーブルを Data Enabler Pro に通し、
アース端子に繋いで下さい。
続いて、ライン/ニュートラルをそれぞれの
端子に繋いで下さい。

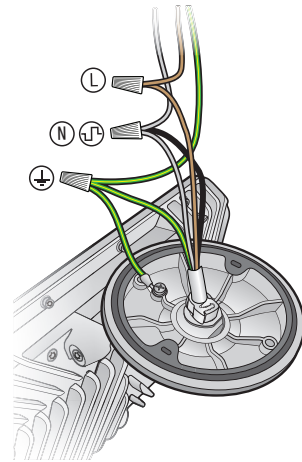


● 器具の接続

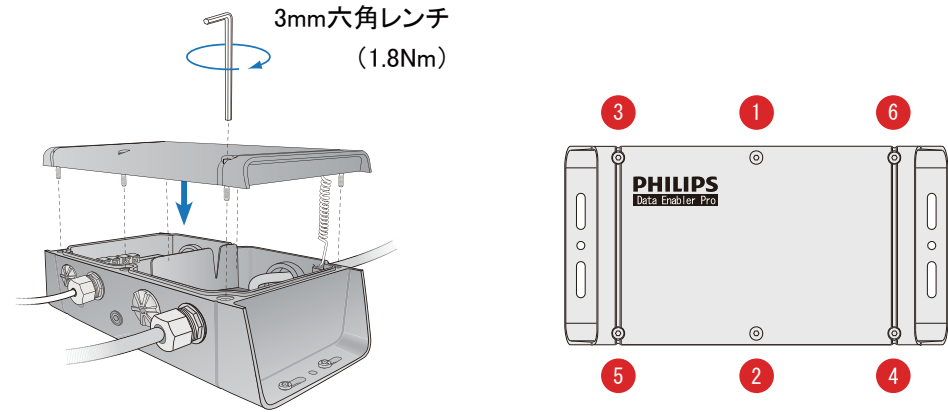
接続する器具の専用リードケーブルまたは器具
配線用の4芯ケーブル(別途)をData Enabler Pro
に通します。出力側の端子に各線ライン/ニュート
ラル/アース/データを接続します。



- ・ eW Burst Powercore gen3 スイッチオン・オフのみ
(コントロールなし)での使用の場合
器具のケーブルを右記の通り接続して下さい。



7 正しく配線されているか確認し、蓋を固定して下さい。



8 電源を入れます。

9 アドレス設定ツールを使用して器具のアドレス設定を行います。

アドレス設定ツール

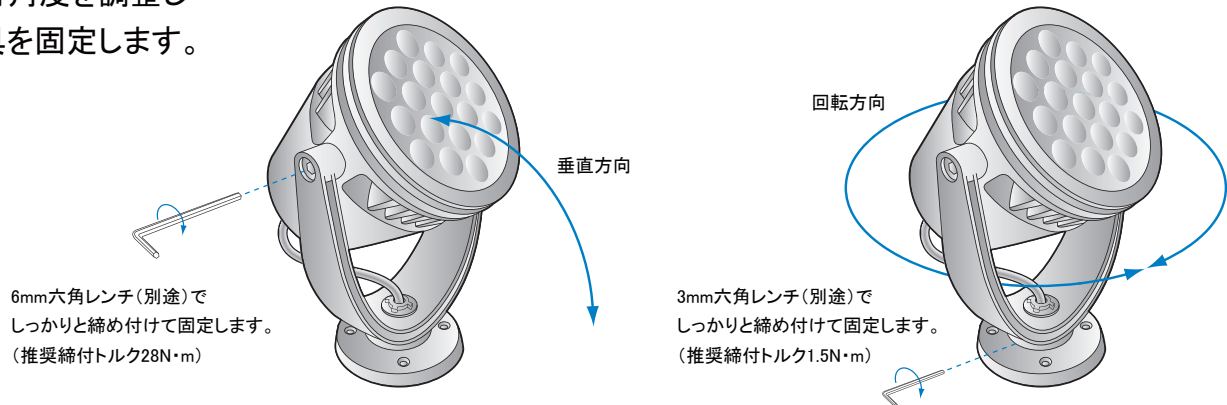
- ・ iPlayer3
- ・ iColor Player

(※ 出荷時のアドレス設定サポート(有償)をご依頼されている場合はこの作業は必要ありません。)

10 アクセサリーを取り付けます。
(※ オプション品・別売りとなります。

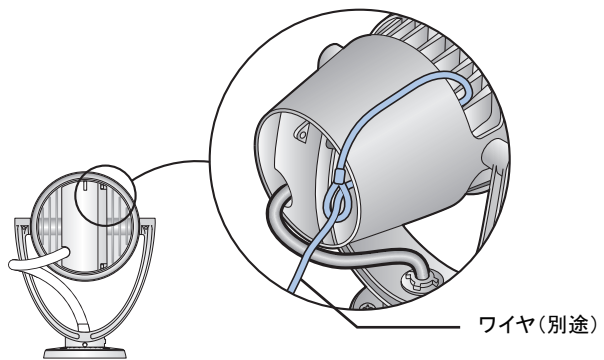
アクセサリーにつきましては、アクセサリーの取扱説明書をご参照下さい。)

11 照射角度を調整し
器具を固定します。



12 落下防止ワイヤの取付

製品本体の落下防止の為、設置環境
に応じて適宣ワイヤ(別途)をご使用下さい。



安全上のご注意(お客様へ)

⚠ 警告

- 素人工事は危険です。電気工事は、電気工事店(有資格者)にお任せ下さい。一般の方の取付は法律で禁止されています。
- 電源を入れた状態での配線工事、器具の接続または取り外しはしないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 異常を感じたらすぐに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談下さい。火災・感電の原因となります。
- 器具の改造、部品の変更は行わないで下さい。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を布・紙などの可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないで下さい。火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切り、しばらくしてから作業して下さい。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

- 点灯中および消灯直後はLED器具が高温となっておりますので、手を振れないで下さい。火傷の原因となります。
- 器具の周囲に温度の高くなるもの(ストーブなど)や湿気を発生させるものを置かないで下さい。火災の原因となります。
- 合板やベニヤなどの柔らかい木材には取り付けしないで下さい。設置・取付環境に応じて適切な部材、手法で施工して下さい。取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。必ずメンテナンスが可能な場所に設置して下さい。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災、落下、感電などに至る場合があります。
- 屋外で結線をする場合には防水処理・絶縁処理を確実に行って下さい。不完全な場合、火災・感電・器具不良の原因となります。
- 当製品の使用可能条件の温度は-20℃～50℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、温度が35℃以上の高温下でのご使用になりますと著しく寿命が短くなる原因となります。
- 当製品の保存可能条件の温度は-20℃～70℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、範囲外の温度での保存は短寿命または故障の原因となります。

使用上の注意

- LEDにはバラツキがある為、同一商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。ご了承下さい。
- 安全の為、LEDを直視する事はお止め下さい。
- LED光源の交換は出来ません。
- 湾岸隣接地域では、塩害により短時間で錆が発生する場合があります。

保 証

- この商品の保証期間は、お買い上げより3年です。取扱説明書、カタログ、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内で故障した場合は製品交換させていただきます。
- 無償修理または交換をご依頼になる場合は、お買い上げ販売店にお申し付け下さい。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他天災などによる故障および損傷。
- 異常電圧、指定以外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
- 施工上の不備に起因する故障および損傷。本取扱説明書に従わない取付。
- 現場でのカット加工に起因する故障および損傷。
- 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷。
- 日本国内以外での使用による故障および損傷。
- 年間4000時間以上の長時間使用の場合。

2. 保証の範囲は商品のみです。

- 交換、出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

保守・点検について

⚠ 注意

- 安全の為、1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検を行って下さい。
- 点検は必ず、電源を切ってから行って下さい。感電の原因となります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受け下さい。
- 点検せずに使い続けるとまれに、火災・感電・落下などに至る場合があります。

※安全チェックシートは一般社団法人 日本照明工業会より発行されています。

一般社団法人 日本照明工業会
<https://www.jlma.or.jp/>

清 掃

- LED器具のお手入れは、水もしくは薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、それを絞ってから軽く拭き取って下さい。
- ⚠ シンナー、ベンジン、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤で拭かないで下さい。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- ⚠ 器具を水洗いしないで下さい。